

みんなのアクセシビリティ評価ツール
miChecker よくある指摘事項と対応方法

2024年4月版

本書の目的

本書はみんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker を活用して検証を行う際に、よくある指摘事項とその対応方法の概要を説明するものです。

目次

1. はじめに.....	3
2. 文法編.....	3
2.1 文書内で主に利用されている言語を※属性を用いて明示してください（例：<※="ja">）.....	3
2.2 id 属性の値に重複があります。（※）.....	4
2.3 このページ内リンクは、ジャンプ先のアンカー“※”が存在しないため利用できません.....	5
3. テキストによる代替編.....	6
3.1 画像に alt 属性がありません。代替テキストを提供してください。（もし支援技術がこの 画像を無視するべき場合は、alt="" と設定してください）：src="※".....	6
3.2 同一テキストの繰り返しがあります： ※※※.....	7
4. 入力フォーム編.....	8
4.1 フォーム・コントロールに label 要素および title 属性が関連付けられていません。.....	8
4.2 同じ name 属性値（※）を持つ type="radio"または type="checkbox"の input 要素のグループが同一の fieldset 要素に含まれることを確認して下さい.....	9
5. テーブル編.....	11
5.1 th 要素に scope 属性がありません。scope 属性を適切に用いて、データテーブルの見出しセルとデータセルを関連付けて下さい。.....	11
6. ブロックスキップ編.....	13
6.1 iframe 要素に title 属性がありません。iframe 要素には、フレームの内容を説明するための空でない title 属性を提供してください。※.....	13
6.2 “本文へ移動”などのスキップリンクを提供してください（本文へジャンプ、本文へのリンク等）.....	14
7. その他編.....	16
7.1 フォントサイズは相対的な大きさを指定してください。※※※.....	16
8. 参考情報.....	17
8.1 JIS X 8341-3:2016 規格書.....	17
8.2 みんなの公共サイト運用ガイドライン.....	17

1. はじめに

本書は JIS X 8341-3:2016（高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ）の達成基準について、みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker を活用して検証を行った際に、検出されることの多い指摘事項（問題の内容）の概要と対応策の例をまとめた資料です。個々の達成基準、達成方法に関する詳細については「miChecker 達成基準別活用法」や、W3C が提供する「Techniques for WCAG2.0」(<https://www.w3.org/TR/WCAG20-TECHS/>) および、ウェブアクセシビリティ基盤委員会(WAIC)による日本語訳「WCAG 2.0 達成方法集」(<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/>) も参考に対応を進めてください。

2. 文法編

2.1 文書内で主に利用されている言語を※属性を用いて明示してください（例：<※="ja">）

miChecker はウェブページにデフォルトの言語の指定が無い場合にこの問題を報告します。HTML 文書の冒頭で、lang 属性を用いて言語を指定するなどの対応を行ってください。

問題の例:

```
<!DOCTYPE html>
<html>
```

対応例:

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
```

関連する達成基準： 3.1.1 ページの言語

ページの言語: それぞれのウェブページのデフォルトの自然言語がどの言語であるか、プログラムによる解釈が可能である

達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<http://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/meaning-doc-lang-id.html>

達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

H57: html 要素の言語属性を使用する: <https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H57.html>

ポイント

- CMS の機能なども活用して、言語指定が確実に行われるように配慮しましょう
- ウェブページを作成する際のテンプレート(雛形)などがある場合には、テンプレートで対応を行っておくと共に、編集時に誤って削除したりしない様に注意しましょう

2.2 id 属性の値に重複があります。(※)

miChecker はウェブページ内で値が重複する id 属性を発見した場合にこの問題を報告します。HTML 文書の中で id 属性の値が重複しない様に修正するなどの対応を行ってください。

問題の例:

```
<label for="input-text">入力テキスト</label>
<input type="text" id="input-text">
...
<input type="text" id="input-text">
```

対応例:

```
<label for="input-text1">入力テキスト</label>
<input type="text" id="input-text1">
...
<input type="text" id="input-text2">
```

関連する達成基準： 4.1.2 名前 (name)、役割 (role) 及び値 (value)

名前(name)、役割(role)及び値(value)： 全てのユーザインタフェース コンポーネント(フォームを構成する要素、リンク、スクリプトが生成するコンポーネントなど)では、名前(name)及び役割(role)は、プログラムによる解釈が可能である。また、状態、プロパティ及び利用者が設定可能な値はプログラムによる設定が可能である。そして、支援技術を含むユーザエージェントが、これらの項目に対する変更通知を利用できる

達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/ensure-compat-rsv.html>

達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

H88: 仕様に準じて HTML を使用する: <https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H88>

ポイント

- miChecker の詳細レポートでは(※)の部分に該当する id 属性の値が表示されます
- miChecker の詳細レポートの該当する項目を選択し、「ソース HTML を見る」メニューを選ぶと、HTML 文書の中で該当する箇所を確認することも出来ます

2.3 このページ内リンクは、ジャンプ先のアンカー“※”が存在しないため利用できません

miChecker はウェブページ内で、ジャンプ先のアンカー(対象となる値を持つ id 属性)がないページ内リンクを発見した場合にこの問題を報告します。HTML 文書の中でジャンプ先の id 属性の値を正しく設定するか、必要のないページ内リンクを削除するなどの修正を行ってください。

問題の例:

```
<a href="#main">本文へジャンプ</a>
...
<main>
<article><h1>本文</h1>
```

(HTML 文書内のどこにも対象となる値 (main) を持つ id 属性が存在しない)

対応例:

```
<a href="#main">本文へジャンプ</a>
...
<main id="main">
<article><h1>本文</h1>
```

関連する達成基準： 2.4.1 ブロックスキップ

ブロックスキップ: 複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる

- 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<http://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-skip.html>

- 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

G1: メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクを各ページの先頭に追加する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G1>

G123: 繰り返しているコンテンツのブロックの先頭に、そのブロックの末尾へのリンクを追加する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G123>

G124: ページの先頭に、コンテンツの各エリアへのリンクを追加する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G124>

ポイント

- miChecker の詳細レポートでは(※)の部分に該当するアンカー(id 属性で指定すべき値)が表示されます
- ウェブページを編集する過程で、ページ内リンクのジャンプ先のアンカーが誤って削除されてしまう場合があります。ジャンプ先のアンカーの修正をする場合には、ウェブページのテンプレート(雛形)や、デザインが類似している他のページの HTML 文書の構造が参考になる場合があります
- JavaScript などを用いてページ内リンクを管理している場合には、対象となる id 属性が存在しなくてもページ内リンクが機能する場合があります。そのような場合には、この指摘事項に対応する必要はありません。

3. テキストによる代替編

3.1 画像に alt 属性がありません。代替テキストを提供してください。(もし支援技術がこの 画像を無視するべき場合は、alt="" と設定してください) : src="※"

miChecker はウェブページ内で代替テキスト(alt 属性)が付与されていない画像を発見した場合にこの問題を報告します。alt 属性を使用して img 要素に代替テキストを提供してください。代替テキストの適切さは、達成基準に記載された補足事項や、達成方法 G94, G95 の説明も参考にしてください。

問題の例:

```


```

対応例:

```


```

(備考: 1つ目の画像は装飾用の画像のため、代替テキストとして空文字列を指定)

関連する達成基準: 1.1.1 非テキストコンテンツ

非テキストコンテンツ: 利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストが提供されている。ただし、次の場合は除く a) コントロール及び入力、b) 時間依存メディア、c) テスト、d) 感覚的、e) CAPTCHA、f) 装飾、整形及び非表示

- 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/text-equiv-all.html>

- 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

G94: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、かつ同じ情報を示す、簡潔なテキストによる代替を提供する <https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G94>

G95: 非テキストコンテンツの簡単な説明を提供する、簡潔なテキストによる代替を提供する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G95.html>

H37: img 要素の alt 属性を使用する <https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H37>

ポイント

- miChecker の詳細レポートでは(※)の部分に該当する画像ファイルの情報が表示されます
- 画像が装飾やレイアウト用途(区切り線、空白や簡条書きの点など)で用いられている場合には、代替テキストとして空文字列を指定します
- 「代替テキスト」の詳細については、「miChecker 達成基準別活用法」の「達成基準 1.1.1 を検証する」「達成基準 1.1.1 の紹介」の節も参照ください。また、公的機関でよく用いられる、道順等の案内図や模式図・グラフ等への代替情報の提供方法や注意点については、「みんなの公共サイト運用ガイドライン(2024年版)」の「6.3.1 ページ作成時の対応」も参照ください。

3.2 同一テキストの繰り返しがあります： ※※※

miChecker はウェブページを音声で読み上げた場合に、同じテキストが繰り返し読み上げられる可能性のある箇所を指摘します。miChecker v3 以降では、問題の原因にあわせて指摘を細分化していますので、新しい miChecker を用いて指摘事項の確認を行い、その指示に従ってください。具体的には、支援技術が無視すべき画像の代替テキスト(alt 属性)を空にするなどの対応になります。

問題の例:

```
<a href="news.html">ニュース</a>
```

対応例:

```
<a href="news.html">ニュース</a>
```

関連する達成基準： 1.1.1 非テキストコンテンツ

非テキストコンテンツ： 利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストが提供されている。ただし、次の場合は除く a) コントロール及び入力、b) 時間依存メディア、c) テスト、d) 感覚的、e) CAPTCHA、f) 装飾、整形及び非表示

- 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。
<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/text-equiv-all.html>
- 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください
H2: 同じリソースに対して隣接する画像とテキストリンクを結合する
<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H2>
H67: 支援技術が無視すべき画像に対して、img 要素の alt テキストを空にして、title 属性を付与しない
<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H67>

ポイント

- miChecker の詳細レポートでは(※)の部分に該当するテキストの値が表示されます
- miChecker の詳細レポートの該当する項目を選択し、「ソース HTML を見る」メニューを選ぶと、HTML 文書の中で該当する箇所を確認することも出来ます
- 隣接する画像とテキストを用いたリンクの場合、テキストと画像を一つの a 要素にまとめた上で、画像に空の代替テキストを指定することで、テキストの重複を排除しつつ混乱や困難がないリンクを提供することが可能になります

4. 入力フォーム編

4.1 フォーム・コントロールに label 要素および title 属性が関連付けられていません。

miChecker はウェブページ内でフォーム・コントロール(input 要素, textarea 要素, select 要素など)に label 要素が関連付けておらず、title 属性も付与されていない場合にこの問題を報告します。フォーム・コントロールに label 要素を用いてテキストラベルを関連付けることを検討してください。

問題の例:

```
<input type="checkbox" id="html" name="skills"><span>HTML</span>
```

(補足: 見在目上、input 要素(チェックボックス)の次に、その説明である文字列「HTML」が表示されるが、label 要素を用いた関連付けが行われていない)

対応例:

```
<input type="checkbox" id="html" name="skills"><label for="html">HTML</label>
```

(補足: label 要素と for 属性を用いて input 要素と関連付けが行われている)

関連する主な達成基準: 3.3.2 ラベル又は説明

ラベル又は説明: コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、ラベル又は説明文が提供されている

□ 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/minimize-error-cues.html>

□ 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素を使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H44>

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H65.html>

ARIA14: 可視ラベルが使用できない場所で不可視ラベルを提供するために、aria-label を使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/ARIA14>

ポイント

- label 要素を用いてフォーム・コントロールとテキストラベルを関連付けることで、スクリーンリーダーがフォーム・コントロールと共にラベルの内容を読み上げたり、マウスやタップで操作を行う際に、ラベル上で選択操作をすることで対象のフォーム・コントロールを選択することが可能になります
- miChecker の詳細レポートの該当する項目を選択し、「ソース HTML を見る」メニューを選ぶと、HTML 文書の中で該当する箇所を確認することが出来ます
- miChecker の「音声ユーザビリティ」ビューではフォーム・コントロールに関連付けられたラベルはピンク色の背景色を用いて表示されます
- label 要素を使用できない場合には aria-label 属性や title 属性の利用を検討してください

4.2 同じ name 属性値(※)を持つ type="radio"または type="checkbox"の input 要素のグループが同一の fieldset 要素に含まれることを確認して下さい

以前の miChecker はウェブページ内で同じ name 属性の値をもつラジオボタンまたはチェックボックス (type="radio" または "checkbox" の input 要素) のグループが同一の fieldset 要素に含まれていない場合にこの問題を報告していました。miChecker v3.1 以降では、対象となる input 要素と fieldset 要素との親子関係の組み合わせを踏まえて指摘を細分化していますので、新しい miChecker を用いて指摘事項の確認を行い、その指示に従ってください。具体的には、対象となる要素が同一の fieldset 要素に含まれるように修正するなどの対応を行ってください。

問題の例:

```
<fieldset> <legend>希望するプレゼント</legend>
  <input type="checkbox" id="photo" name="interests" value="photo">
  <label for="photo">写真</label><br>
  <input type="checkbox" id="sign" name="interests" value="sign">
  <label for="sign">サイン色紙</label><br>
  <input type="radio" name="method" id="method_post" value="post">
  <label for="method_post">郵送</label>
</fieldset>
<fieldset> <legend>送付方法</legend>
  <input type="radio" name="method" id="method_shop" value="shop">
  <label for="method_shop">コンビニ受け取り</label>
  <input type="radio" name="method" id="method_inperson" value="inperson">
  <label for="method_inperson">手渡し</label>
</fieldset>
```

対応例:

```
<fieldset> <legend>希望するプレゼント</legend>
  <input type="checkbox" id="photo" name="interests" value="photo">
  <label for="photo">写真</label><br>
  <input type="checkbox" id="sign" name="interests" value="sign">
  <label for="sign">サイン色紙</label><br>
</fieldset>
<fieldset> <legend>送付方法</legend>
  <input type="radio" name="method" id="method_post" value="post">
  <label for="method_post">郵送</label>
  <input type="radio" name="method" id="method_shop" value="shop">
  <label for="method_shop">コンビニ受け取り</label>
  <input type="radio" name="method" id="method_inperson" value="inperson">
  <label for="method_inperson">手渡し</label>
</fieldset>
```

□ 関連する主な達成基準： 3.3.2 ラベル又は説明

ラベル又は説明: コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、ラベル又は説明文が提供されている

□ 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/minimize-error-cues.html>

□ 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

H71: fieldset 要素及び legend 要素を使用して、フォームコントロールのグループに関する説明を提供する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H71>

ARIA17: 関連するフォームコントロールを特定するために、グルーピングロールを使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/ARIA17>

ポイント

- miChecker の詳細レポートでは(※)の部分に該当する name 属性の値が表示されます
- miChecker の詳細レポートの該当する項目を選択し、「ソース HTML を見る」メニューを選ぶと、HTML 文書の中で該当する箇所を確認することが出来ます。同じ name 属性を持つ input 要素のグループと、fieldset 要素の関係の確認に活用してください
- fieldset と legend による達成方法(H71)を採用することが困難である場合には、WAI-ARIA の role (group, radiogroup)を用いる達成方法 ARIA17 の利用を検討してください

5. テーブル編

5.1 th 要素に scope 属性がありません。scope 属性を適切に用いて、データテーブルの見出しセルとデータセルを関連付けて下さい。

miChecker は複雑なテーブル(先頭行もしくは先頭列が全て th 要素となっている様な単純なテーブルでない場合)において、th 要素が対象とする範囲が scope 属性を用いて指定されていない場合にこの問題を報告します。miChecker v3 以降では、問題の原因にあわせて指摘を細分化していますので、新しい miChecker を用いて指摘事項の確認を行い、その指示に従ってください。具体的には、テーブルの構造に応じて、th 要素に scope 属性を用いて行方向(row)、列方向(col)などの指定を実施するなどの対応になります。

テスト結果

名前	山田 太郎	佐藤 花子	ジョン・スミス
英語	70	80	100
数学	90	80	70

図 1 先頭行、先頭列が共に th 要素のテーブルの例 (左上の th 要素は行方向の見出し)

問題の例:

```
<table border="1">
  <caption>テスト結果</caption>
  <tr>
    <th>名前</th>
    <th>山田 太郎</th>
    <th>佐藤 花子</th>
    <th>ジョン・スミス</th>
  </tr>
  <tr>
    <th>英語</th>
    <td>70</td>
    <td>80</td>
    <td>100</td>
  </tr>
  <tr>
    <th>数学</th>
    <td>90</td>
    <td>80</td>
    <td>70</td>
  </tr>
</table>
```

対応例:

```
<table border="1">
  <caption>テスト結果</caption>
  <tr>
    <th scope="row">名前</th>
    <th scope="col">山田 太郎</th>
    <th scope="col">佐藤 花子</th>
    <th scope="col">ジョン・スミス</th>
  </tr>
  <tr>
    <th scope="row">英語</th>
    <td>70</td>
    <td>80</td>
    <td>100 </td>
  </tr>
  <tr>
    <th scope="row">数学</th>
    <td>90 </td>
    <td>80</td>
    <td>70</td>
  </tr>
</table>
```

(備考: 各 th 要素に scope 属性を用いて指定を行っており、左上の th 要素は行方向に指定されている。)

関連する達成基準： 1.3.1 情報及び関係性

情報及び関係性： 何らかの形で提示されている情報、構造、及び関係性は、プログラムによる解釈が可能である、又はテキストで提供されている

□ 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/content-structure-separation-programmatic.html>

□ 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

H63: データテーブルで見出しセルとデータセルを関連付けるために、scope 属性を使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H63>

ポイント

- miChecker の詳細レポートで該当する項目を選択すると、scope 属性の指定が必要な th 要素がハイライト表示されます
- miChecker の詳細レポートの該当する項目を選択し、「ソース HTML を見る」メニューを選ぶと、HTML 文書の中で該当する箇所を確認することも出来ます
- テーブルのアクセシビリティ対応については、W3C の Web Accessibility Initiative (WAI)が提供する [Tables Tutorial](https://www.w3.org/WAI/tutorials/tables/) (<https://www.w3.org/WAI/tutorials/tables/>)も参照下さい
- 見出しセルとデータセルの関連付けの詳細については、「miChecker 達成基準別活用法」の「達成基準 1.3.1 の紹介」の節も参照ください
-

6. ブロックスキップ編

6.1 iframe 要素に title 属性がありません。iframe 要素には、フレームの内容を説明するための空でない title 属性を提供してください。※

miChecker はウェブページ内でフレームの内容を説明する title 属性を持たない iframe 要素に対してこの問題を報告します。title 属性として、そのフレームを特定できるテキストを指定するようにしてください。

問題の例:

```
<iframe src="ad.html" id="advertisement " name="ad-iframe">
  <a href="ad.html">広告</a>
</iframe>
```

対応例:

```
<iframe src="ad.html" id="advertisement " name="ad-iframe" title="広告">
  <a href="ad.html">広告</a>
</iframe>
```

関連する主な達成基準： 2.4.1 ブロックスキップ

ブロックスキップ: 複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる

達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<http://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-skip.html>

達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

H64: frame 要素及び iframe 要素の title 属性を使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H64>

ポイント

- ・ miChecker の詳細レポートでは(※)の部分に該当する iframe の src 属性の値が表示されます
- ・ miChecker の詳細レポートの該当する項目を選択し、「ソース HTML を見る」メニューを選ぶと、HTML 文書の中で該当する箇所を確認することも出来ます

6.2 “本文へ移動”などのスキップリンクを提供してください（本文へジャンプ、本文へのリンク等）

以前の miChecker はウェブページ内に“本文へ移動”などのスキップリンクが提供されておらず、到達するまでに長い時間がかかるコンテンツが存在している場合にこの問題を報告していました。miChecker v3.1 以降では、“本文へ移動”などのスキップリンクの存在に加えて、main 要素などを用いた構造化の有無なども踏まえて指摘を細分化していますので、新しい miChecker を用いて指摘事項の確認を行い、その指示に従ってください。

問題の例:

```
<body>
...
<h1>本文</h1>
```

(補足: HTML 文書内で、本文の前にパンくずリスト、検索、関連情報一覧などがあるが、メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクがページの先頭に存在していない)

対応例:

```
<body>
<a href="#main">本文へジャンプ</a>
...
<main id="main">
<article><h1>本文</h1>
```

(補足: ウェブページの先頭に、メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクを配置している。加えて、main 要素を用いた構造化を実施している)

関連する主な達成基準: 2.4.1 ブロックスキップ

ブロックスキップ: 複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる

- 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<http://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/navigation-mechanisms-skip.html>

- 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

G1: メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクを各ページの先頭に追加する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G1>

H101: Using semantic HTML elements to identify regions of a page (翻訳無し)

<https://www.w3.org/WAI/WCAG21/Techniques/html/H101>

ARIA11: ページのリージョンを特定するために ARIA ランドマークを使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/ARIA11>

H69: コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/H69>

ポイント

- 複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップする方法は、“本文へ移動”などのスキップリンクの提供に限られるわけではありません。達成方法 H101 で紹介されているランドマーク(目印)となる要素(main, nav, header, footer, aside, section など)を用いた構造化などの活用も検討してください
- miChecker の「音声ユーザビリティ」ビューを用いることで、HTML5 から導入されたランドマーク(目印)となる要素の位置が山形のアイコン(など)、見出し要素が水色の背景色で表示されます。達成方法 H101, H69 などを用いて構造化を行う際に参考にしてください
- miChecker の「音声ユーザビリティ」ビューでは、音声を用いてウェブページを閲覧した際に、到達までに長い時間がかかると推定されるコンテンツの背景色をより暗い色で表現する視覚化を行っています。“本文へ移動”などのスキップリンクの導入や、達成方法 H101, H69 などを用いた構造化の効果を確認する際に参考にしてください

7. その他編

7.1 フォントサイズは相対的な大きさを指定してください。***

miChecker v2 は対象とするブラウザを Internet Explorer 相当としていたため、固定サイズフォントが利用されていた場合に、問題あり／問題の可能性大として報告を行っていました。miChecker v3 以降では、対象ブラウザの変更 (Microsoft Edge 相当への変更) に伴い、固定サイズフォントが用いられていた場合の指摘の区分を要判断箇所に変更しています。もし以前の miChecker (v2 系) を利用して指摘を受けた場合は、対象ブラウザでの実際の挙動を確認した上で、必要があれば対応を進めることとしてください (要判断箇所相当として取り扱ってください)。

関連する達成基準： 1.4.4 テキストのサイズ変更

テキストのサイズ変更: キャプション及び文字画像を除き、テキストは、コンテンツ又は機能を損なうことなく、支援技術なしで 200 %までサイズ変更できる

□ 達成基準を理解するには、WCAG 2.0 解説書の次の章を読んでください。

<https://waic.jp/translations/UNDERSTANDING-WCAG20/visual-audio-contrast-scale.html>

□ 達成方法(実装方法)については、下記を参考にしてください

G142: ズーム機能をサポートする一般に入手可能なユーザーエージェントのあるウェブコンテンツ技術を使用する

<https://waic.jp/translations/WCAG-TECHS/G142>

ポイント

- Internet Explorer などの以前のブラウザでは、固定サイズフォントが用いられていた場合に、文字の拡大などに問題が生じる場合があります。最新のブラウザでは固定サイズフォントの利用が問題とならない場合が一般的になっています
- ブラウザの機能を用いて 200%までズーム(拡大)した状態で、コンテンツの機能が失われていないこと、すなわち画面が著しく崩れたり、重なって読めない、フォームの操作が出来ないような状況になったりしていないことを確認してください

8. 参考情報

8.1 JIS X 8341-3:2016 規格書

JIS 規格書は日本規格協会本部あるいは支部にて購入することができます。また、日本規格協会のホームページから購入することも可能です。なお、日本産業標準調査会のホームページ上では無償で閲覧することが可能ですが、印刷や PC への保存、コピー操作などはできません。

a) オンラインで購入する方法

日本規格協会の Web 販売サイト (<https://webdesk.jsa.or.jp/>) を開きます。次に、規格番号として”X8341-3”を検索してください。JIS X 8341-3:2016 が結果に表示されますので、必要に応じて和文 PDF ダウンロード版あるいは和文冊子をご購入ください。実際の購入にあたっては、日本規格協会のホームページから提供される情報に従ってください。

b) オンラインで閲覧する方法

日本産業標準調査会のホームページ (<http://www.jisc.go.jp/index.html>) を開き、「JIS検索」ページの「JIS 規格番号から JIS を検索」入力欄に”X8341-3”と入力するなどして検索してください。なお、本方法によって閲覧可能な PDF 文書と、購入可能な PDF 文書では解像度等に違いがあります。

8.2 みんなの公共サイト運用ガイドライン

国、地方公共団体等公的機関におけるウェブアクセシビリティの取組に関する詳細については、総務省が提供する「みんなの公共サイト運用ガイドライン」をご参照ください。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html